



## 気まぐれ通信 2022/04

社会福祉・医療の公益性・非営利性の観点から、経営主体のガバナンスの強化、透明性向上等の制度の見直しが行われ、説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方がさらに求められております。本通信は、これら社会福祉法人・医療法人の制度改革関連のトピックスをご紹介します。 監査法人ユウワット会計社

\*\*\*\*\*

### マルウェアが急増しています

マルウェアとは、「malicious software(悪意があるソフトウェア)」の略語であり、意図的にパソコンやスマホに不具合を起こす目的で作成されたソフトウェアのことです。

その中で、Microsoft Office のマクロ機能等を悪用して侵入してくる不正メール型のマルウェア「Emotet(エモテット)」は、メールに添付された不正な文書ファイル(Word や Excel)の「コンテンツの有効化」を実行すると、気付かないうちに端末やブラウザに保存されたパスワード等の認証情報が窃取されるもので、かつて世界規模で感染が広がり「最恐ウイルス」とも呼ばれました。欧州刑事警察機構を中心とした停止措置により 2021 年 1 月には活動が停止しましたが、その年の 11 月後半に活動再開が確認され、本年 2 月の第 1 週から感染の相談件数が急速に増加、3 月 1 日～8 日の相談件数はさらに 2 月 1～8 日の 7 倍近くまで急増しました。攻撃件数自体が増えていることが考えられますが、内容も巧妙となって一目見ただけでは不正が見分けにくくなっているなど、メール自体が進化していることも相談件数が急増している一因と考えられます。

マルウェアの中で、顧客データや稼働システムそのものを人質として身代金を要求する形のものランサムウェア(「ransom」(身代金)と「software」(ソフトウェア)の組合せ：身代金要求型ウイルス)と呼びます。

昨年 11 月には四国の公立病院の電子カルテや会計などすべてのシステムがダウンして手書きの作業を余儀なくされ診療も大幅に縮小したり、また本年 3 月初めには大手自動車グループが国内全工場の稼働停止に追い込まれるなど、ランサムウェアの被害も急拡大しています。

進化したマルウェアといっても、攻撃対象としたパソコンの中で自身(不正ソフトウェア)を起動する必要があることから、その感染経路は従来型と同様、不正マクロ付き Office 文書ファイルやパスワード付き ZIP

ファイルが添付されたメールか、ウェブサイトへの誘導です。新しいタイプのマルウェアだからといって、必ずしも特別な感染経路というわけではありません。

最近の不正メールは巧妙化しており、自分からのメールの返信(Re:)を装ったり、自組織や取引先の職員になりすましたものもあります。地方公共団体やその出先機関を騙るメールもあるので、医療機関や福祉施設としても他人事ではなく、注意が必要です。しかし、メールに添付された不正な文書ファイル等を起動してもパソコン上では通常のファイルが表示されるだけという種類の場合は感染しても気付くことは困難で、発見が遅れることによりマルウェアが拡散されてしまい被害が拡大することもあります。添付ファイルを開いた際、「セキュリティの警告」、「コンテンツの有効化」などの警告画面が出てきた場合、安易に「有効にする」をクリックせず、メール送信の有無について送信元に連絡して確認するなどの注意が必要です。

マルウェアは 1 種類ではありませんが、エモテットがランサムウェアの導入経路となることが多いことから、わが国でも公私ともにその対策に力を入れており、警視庁はエモテットの感染確認ツール「EmoCheck2.0」の実行手順を公表しています。3 月 4 日と 14 日に改善されて現在のバージョンは 2.1.1 となっていますが、手順は同じです。ぜひ定期的に確認してください。

#### ◎エモチェック

<https://github.com/JPCERTCC/EmoCheck/releases>

#### ◎サイバーセキュリティ ad 資料(警視庁)

[https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/cyber/CS\\_ad.html](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/cyber/CS_ad.html)

「気まぐれ通信」のアーカイブをご覧になりたい方、社会福祉法人・医療法人の経営・法律・会計等に関するご質問がお有りの方は、是非、弊監査法人の下記HPを通じてお問い合わせをお願い致します。ありがとうございました。

<https://iuvet.jp>

監査法人ユウワット会計社

